第５講 【中世編】東アジア文化圏の形成
PART2 中国の南北朝時代

Chapter 1　鮮卑族の北魏と南北朝の分裂

目標
鮮卑族の北魏の政治状況をまとめてみよう。
南北朝の王朝の流れを理解しよう。

1　北魏の華北支配と統治

①北魏の建国

386 年　遊牧民〔　　　　　〕の**拓跋氏**が華北に**北魏**を建国

平城（現・大同）を都とする

439 年　第３代皇帝〔　　　　　　　〕が**華北**を統一。**五胡十六国時代**を終わらせる

②北魏の統治政策

A　第６代皇帝〔　　　　　　　〕が〔　　　　　　　〕を施行

国家が成年男子，妻，奴婢，耕牛に給田し，税を徴収する制度

土地と人民を正確に把握し，税を確実に徴収することが目的

B　**三長制**の実施

５つの家を隣，５隣で里，５里で党としてそれぞれに長を置く

C　〔　　　　　　　　　〕を推進

鮮卑の制度や習俗，文化を中国的なものに改め，都を平城から**洛陽**に移す

2　北魏の分裂

６世紀　六鎮の乱をきっかけに，北魏が**東魏**と**西魏**に分裂

６世紀後半　西魏を継いだ〔　　　　　〕が，東魏を継いだ**北斉**を征服。華北を再統一する

※北魏から西魏・北周・東魏・北斉の５王朝を〔　　　　　〕と呼ぶ。

北魏と南朝

3 南朝の王朝

江南では，約 100 年続いた**東晋**が滅亡すると，以降４つの王朝が興亡した。この時代には皇帝の力は弱まり，門閥貴族の勢力が強まった。

①４王朝の興亡

420 年　江南に〔　　　〕が建国

479 年　宋が滅亡し，〔　　　〕が建国

502 年　斉が滅亡し，〔　　　〕が建国

557 年　梁が滅亡し，〔　　　〕が建国

※東晋を含め，江南の諸王朝を〔　　　　〕と呼び，北朝と対立した時代を**南北朝時代**，三国時代から南北朝の動乱期までを**魏晋南北朝時代**と呼ぶ。

②江南の開発

戦乱の続く華北から長江流域へ漢民族の大規模な移住がおこり，江南の開発が進んだ

まとめ
鮮卑族の北魏が華北を統一し，漢化政策を行うが，東魏と西魏に分裂した。
江南では東晋の滅亡後，宋，斉，梁，陳の順番で王朝が交替した。

Chapter２　魏晋南北朝時代の文化

目標
魏晋南北朝時代に道教や仏教が流行した背景を考えよう。
魏晋南北朝時代の芸術にはどのようなものがあったか知ろう。

1　魏晋南北朝時代の宗教・思想

魏晋南北朝時代動乱期には，礼や仁による理想社会の実現を説く**儒教**は振るわず，代わって**道教**や**仏教**が社会に広まった。

①道教

A　俗世間を逃れて竹林に集まり，自由な議論を楽しむ〔　　　　　〕が流行。
　老荘思想がもてはやされた
　阮籍ら７人の清談家が**竹林の七賢**と呼ばれた

B　北魏の〔　　　　　　　〕が道教を大成。教団を組織して布教に努める
　第３代**太武帝**の時期に道教が国教となり，保護を受ける

②仏教

A　仏僧の来朝
　あ　西域の亀茲（クチャ）出身の僧〔　　　　　　　〕が華北で布教
　い　西域の亀茲出身の僧〔　　　　　　　　　　〕が**仏典**を**漢訳**する
　う　東晋の僧〔　　　　　〕がインドに留学し，その記録を旅行記『**仏国記**』にまとめる

B　**敦煌**，**雲崗**，**竜門**に巨大な〔　　　　　　　　　〕がつくられる
　※中国の三大石窟寺院といわれ，世界遺産に登録されている。

石窟寺院

2　南北朝時代の芸術

①詩文

A　東晋の詩人〔　　　　　　〕（陶潜）が『帰去来辞』を著す

B　宋の詩人**謝霊運**が山水詩をつくる

C　梁の文学者**昭明太子**が古今のすぐれた詩文を集めて詩文集『**文選**』を編さん

※日本文化にも影響を与えた。

D　散文では**四六駢儷体**と呼ばれる華麗な文体が流行

②書画

A　東晋の書家〔　　　　　　〕が書道を大成

※作品に「**蘭亭序**」などがある。

B　東晋の文人画家〔　　　　　　〕が「**女史箴図**」などを描く

「女史箴図」

まとめ

動乱期の中国では，礼や仁による理想社会の実現を説く儒教ではなく，無為自然を説く道教や，無常観を説く仏教が広まった。

王羲之は書道の大家となり，顧愷之は「女史箴図」を描いた。

第５講　PART２　確認問題

1　４世紀の末，鮮卑を率いて華北に北魏を建国した氏族を何というか。

①　司馬氏　　②　劉氏
③　拓跋氏　　④　王氏

2　華北を統一して五胡十六国時代を終わらせた皇帝はだれか。

①　孝文帝　　②　太武帝
③　光武帝　　④　武帝

3　税収を確実に確保するため，北魏がはじめた土地制度を何というか。

①　三長制　　②　班田収授法
③　均田制　　④　租庸調制

4　北魏が推進した，鮮卑の制度や習俗などを中国風に改める政策を何というか。

①　漢化政策　　②　欧化政策
③　中国化政策　　④　海禁政策

5　東晋の滅亡後，江南に興亡した４王朝の順番として正しいものはどれか。

①　宋→梁→陳→斉　　②　宋→斉→梁→陳
③　斉→梁→陳→宋　　④　斉→宋→梁→陳

6 魏晋南北朝時代に来朝して，仏典の翻訳に活躍した亀茲出身の僧はだれか。

① 仏図澄　　② 寇謙之
③ 鳩摩羅什　　④ 陶淵明

7 東晋の僧の法顕が著した旅行記を何というか。

① 『大唐西域記』　　② 『仏国記』
③ 『帰去来辞』　　④ 『南海寄帰内法伝』

8 「女史箴図」を描いた東晋の文人画家はだれか。

① 謝霊運　　② 顧愷之
③ 王羲之　　④ 昭明太子

第５講 PART２　確認問題 解答

1 解答：③　鮮卑の一氏族だった**拓跋氏**は，２世紀後半から中心氏族になり，鮮卑を統一した。

2 解答：②　第３代皇帝**太武帝**のときに，華北が統一された。太武帝は，道士（道教をおさめた人）の寇謙之を重用して道教を国教とし，仏教を弾圧した。

3 解答：③　**北魏**で創始された**均田制**は，隋・唐に継承された。班田収授法は，唐の均田制にならって日本で施行された土地分配制度である。

4 解答：①　北魏は**漢化政策**の一環として，都を平城から漢民族の古都である洛陽に移した。

5 解答：②　**宋，斉，梁，陳**の４王朝はいずれも建康（現在の南京）に都を置いた。建康（建業）を都とした呉，東晋と合わせて６王朝を六朝と呼ぶ。

6 解答：③　**鳩摩羅什**は約 300 巻の仏典を翻訳した。仏図澄も亀茲出身の僧で，４世紀初めに洛陽に来て布教活動を行った。

7 解答：②　**法顕**は 399 年，仏典を求めて六十余歳で長安を出発し，西域経由でインドに至り，海路で帰国した。『**仏国記**』は，５世紀初めの各地の様子を知る貴重な歴史資料である。

8 解答：②　「**女史箴図**」は，宮廷の女官が守るべき教えに絵をつけたもので，**顧愷之**作とされる。